

Section /
3 美しい
『スギ』

青森県のスギの資源量は全国有数。冬の厳しい寒さに何十年も耐えて育った青森のスギは、美しい木目と柔らかな色合いが特徴です。肌触りも良く、建築物のほか、家具や建具にも使われ、全国に流通しています。



スギの木コラム

スギは日本で一番多く植えられている木。名称の由来は、真っ直ぐ高く伸びる木を意味する「直ぐ木(すくき)」から来ているといわれています。日本の固有種で、縄文時代から生活に利用されてきた歴史を持ち、50m以上に育った巨木もあります。

用途 構造材全般、内装材、
板材など

Section /
4 頼れる
『青森ヒバ』



青森県には、「木曽ヒノキ」「秋田スギ」と並ぶ日本三大美林の一つである「青森ヒバ」の天然林が広がっており、主に津軽半島と下北半島に分布しています。抗菌、防腐、防虫効果がある成分「ヒノキチオール」が含まれ、木材の優等生と言われるヒバ。すがすがしい香りは、心身をリラックスさせてくれます。家づくりでは、主に土台のほか、お風呂や洗面所などの水回りに多く用いられます。また、建築材としてだけではなく、まな板などの日用品や、木材から抽出したヒバ精油などとして、広く利用されています。



青森ヒバの木コラム

青森の厳しい冬の気候に耐えながら、長い年月をかけて育つ青森ヒバ。青年期を迎えるまでに100年ほどかかります。現在、木材として利用されているヒバは、樹齢およそ200年～250年のものがほとんど。弘前城や斜陽館(五所川原市)などの歴史的建造物にもヒバが使われており、優れた耐久性を証明しています。

用途 構造材(柱、束、土台)、
内装材、板材など

Section /
5 強い
『南部アカマツ』

「南部アカマツ」は、その名の通り主に県南地方に分布しています。曲げ強度が高く、梁に最適です。粘り強さや曲がりの美しさを活かし、神社や仏閣といった歴史的建造物にも使われています。年月が経つにつれて上品なあめ色に変化していくのも、大きな特徴の一つです。



南部アカマツの木
コラム

近年では珍しくなった国産のアカマツ。樹皮が赤いことが名前の由来で、主に内陸部で育ちます。冬の厳しい寒さに耐えて育つ南部アカマツは磨くほどに美しい艶が生まれます。2020年に再建された蕪嶋神社(八戸市)の新社殿にも、南部アカマツが使われました。

用途 構造材(梁、桁、垂木、
母屋)、内装材など

木
の
SUGI
10 fact about aomori